

『「大丈夫ですか」に助けられ』

習い事の帰りの夜遅く、自転車を置いていた駐輪場から出ようとしたが、自転車の出し方が分からなくて出られなかったことがあった。何回試してみても出られない。私の後ろには帰ろうとする他の人たちが並んでいた。

私は急いで出口から離れて、どうしようかと考えていた。そのとき並んでいた一人の人が「大丈夫ですか」と声をかけてくれた。自転車の出し方が分からなくて出られない、と伝えたところ、優しく丁寧に教えてくれ、無事に帰ることができた。

私はこの体験から、これから困っている人を見かけたら声をかけて、少しでも助けになれるようにしたい、と強く思った。

私が困っているとき、自分が思っている以上にパニックになっていた。しかし「大丈夫ですか」の一言で助けられた。ささいな一言が何かの助けになるかもしれないと思った。